

報告事項ケ

令和5年度江原道教育庁との生徒交流について

令和5年度江原道教育庁との生徒交流について、別紙のとおり報告します。

令和5年12月27日

鳥取県教育委員会教育長 足羽 英樹

令和5年度江原道教育庁との生徒交流について

令和5年12月27日
高等学校課
教育総務課

江原道教育庁との児童生徒交流について、以下のとおりオンラインでの交流を実施した。

- 1 日時 令和5年12月18日(月)午後4時30分～午後6時
- 2 場所 鳥取県立米子南高等学校 第2選択室
※江原道側はそれぞれの高校から参加
- 3 参加者 計46名
鳥取県側 20名 米子南高等学校1・2年生
江原道側 26名 江陵第一(カンヌンチェイル)高校(4名)
雉岳(チアク)高校(2名)
聖修(ソンス)高校(3名)
聖修(ソンス)女子高校(3名)
鉄原(チョルオン)女子高校(3名)
江陵明倫(カンヌンミョンリョン)高校(4名)
雪嶽(ソラク)高校(2名)
金化(キムファ)高校(3名)
北坪(プクピョン)女子高校(2名)
- 4 方法 Zoomによるオンライン交流
米子南高校の生徒と、江原道の生徒で4～5名のグループを10グループ作り、全体での活動と、グループごとの活動とに分けて交流を実施した。米子南高校の生徒は、各自のクロームブックを使用した。江原道側の参加生徒が日本語を学んでいる生徒であり、江原道側から主に日本語での交流をとの要望があったことから、使用言語については基本的に日本語で行い、米子南高校生徒のうち韓国語を学んでいる生徒は時折韓国語を交えながら会話を行った。
- 5 内容 開会式(鳥取県教育委員会及び江原道国際教育院代表挨拶等)
両地域及び参加学校紹介
グループ活動(自己紹介、学校紹介、自国文化紹介等)
閉会式(生徒感想等)
- 6 参加生徒の感想・交流の様子

米子南高校の生徒たちは、学校紹介を韓国語で行い、緊張しながらも一生懸命に話していた。小グループに分かれてからは、最初こそぎこちなさがあったが、すぐに打ち解けて、日本語で、時折韓国語を交えながら、積極的に交流を行うことができた。

【生徒の感想】

- ・韓国と日本の文化の違いや生活を知るよい機会になった。もっと韓国語が上達したら、また交流したい。
- ・自分たちは全然韓国語をしゃべることができなかったけど、相手の方は日本語が上手くて、本当に日本が好きなんだと感じました。私ももっと韓国語を練習して、もし次何かの機会に韓国学生と話すことがあった時には、ペラペラ喋れたり聴きとれたりできるようになりたいと思った。
- ・交流した韓国の高校生が日本語をすらすらと話していてとても上手で驚いた。次は直接会って交流したい。

